

新興国レポート

中国2020年5月の物価動向

中国人民銀行の追加利下げ余地が広がる可能性も

- ✓ 中国の5月のPPI（生産者物価指数）は前年同月比-3.7%と、2016年3月以来の大幅な落ち込み。CPI（消費者物価指数）は同+2.4%と、2019年3月以来の低い伸びに。
- ✓ 5月物価指標の発表等をきっかけに、中国人民銀行（中央銀行）の追加利下げ期待が高まる可能性も。

(1) 5月の生産者物価指数

- 中国の5月のPPIは、前年同月比-3.7%と2016年3月以来の大幅な落ち込みとなりました（図表1）。PPIの内訳では、石油・天然ガス部門が同-57.6%と、落ち込みが最も大きくなっています。そのほか、自動車部門が同-0.6%、電気機器部門が同-3.6%となっています。新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な都市封鎖を背景に中国製品への需要が減少し、需給ギャップが拡大していることがPPI低下の主な要因と見られています。

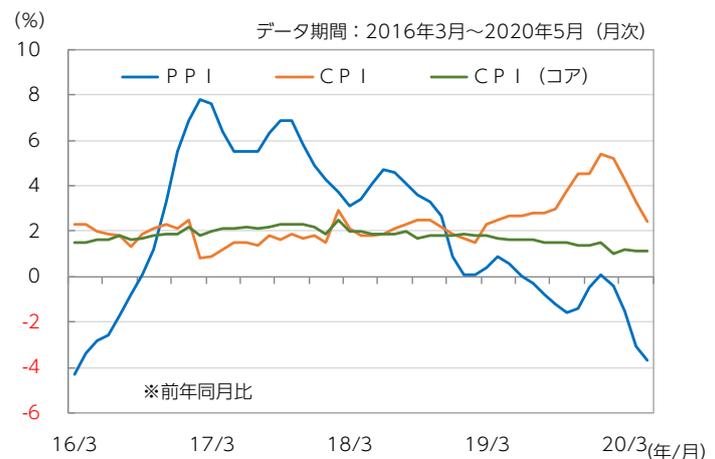
(2) 5月の消費者物価指数

- 中国の5月のCPIは前年同月比+2.4%と、2019年3月以来の低い伸びとなりました。変動の大きい食品とエネルギーを除いたCPI（コア）は同+1.1%と、4月と同水準でした（図表1）。CPIの内訳では、食料品が同+10.6%と2月の同+21.9%をピークに低下を続けています（図表2）。アフリカ豚コレラの影響で2月に同+135.2%まで高騰していた豚肉の価格が、生産の回復等で5月は同+81.7%まで低下したこと等が影響しているようです。

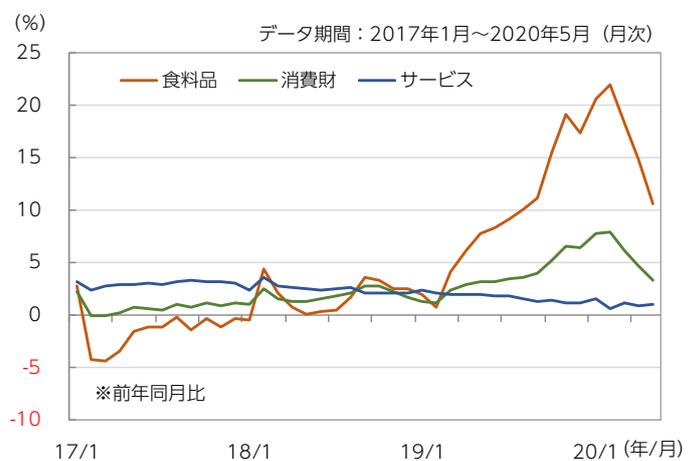
(3) 追加利下げ期待が高まる可能性も

- 中国人民銀行は、2月と4月に引き下げていた事実上の政策金利である「ローンプライムレート（貸出基礎金利、LPR）」の1年物金利を5月は据え置きました（図表3）。中国経済は回復傾向にあるものの、北京市内で最大規模の食品卸売市場で集団感染が発生し、新型コロナウイルス感染の「第2波」への警戒から、先行き不透明感が強まりつつあるようです。5月の物価指標発表等を背景に、人民銀行の追加利下げ期待が高まる可能性もあります。

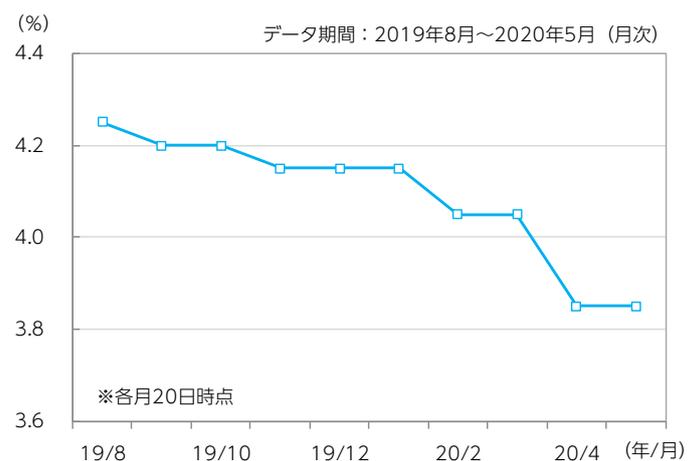
図表1：PPIとCPIの推移



図表2：CPI主要構成要素の推移



図表3：ローンプライムレート1年物金利の推移



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>